



あべ まさあき  
**阿部 正明**  
常務執行役  
CSR委員会 委員長

## 社会・地域課題の解決に貢献

パルコグループは、CSRの考え方の明確な定義とCSR活動の体系化によって、CSR活動の質を向上させることを目的に、「パルコグループCSR基本方針」を定めています。CSRの定義を「経営理念の具現化」であると考え、3つの社会的役割である「インキュベーション」「街づくり」「情報発信」を通じて、ステークホルダーからの信頼と満足を得て、企業価値を高めるための取り組みを推進しています。また、CSR活動は事業活動そのものであると考えており、事業活動に則した重点4テーマ「次世代」「文化」「地域」「環境」を掲げ、積極的に取り組んでいます。こうした取り組みを推進していくために、「CSR委員会」「ダイバーシティ推進委員会」「リスクマネジメント委員会」から成るCSRマネジメント体制を構築し、CSR活動のさらなる促進を図っています。

2018年度は、SDGsを念頭に、4つの重点テーマにサステナブルな経営を目指すために「働き方改革」「コンプライアンス」を加えた6つの重点テーマを設定し、117施策を実施しました。「次世代」については、新しい表現を生み出すクリエイターへの支援の継続、新たなショップやブランドの発掘と育成サポートなどをおこないました。「文化」については、ミニシアター「アップリンク吉祥寺パルコ」を新たに開業、また、パルコプロデュース・出資作品が芸術の分野で評価され、数々の賞を受賞しています。「地域」については、クラウドファンディングサービス「BOOSTER(ブースター)」を

通じて国内外の地域や人を支援、各店舗では地元で暮らす方々やアーティストと連携し、地域の活性化に貢献しました。「環境」については、各店舗・事業において節電、リサイクル・リユースの取り組みを継続しました。「働き方改革」については、場所を選ばない多様な働き方を継続的に支援するためのテレワーク拡充や新たな副業制度を導入するなど、社員の働き方の見直しに取り組みました。「コンプライアンス」では、リスクマネジメントの体系化、コンプライアンスの徹底を図りました。

50周年を迎える2019年度は、今後もサステナブルであり続けるために、ESG視点をもち、SDGsの要素を盛り込みながら、6つの重点テーマに積極的に取り組むことで社会・地域課題の解決に貢献していきます。また、渋谷PARCOでは「周辺地域との賑わいの創出」「環境負荷低減」「多様な企業・個人との協業」に取り組みます。

詳細な取り組みはWebサイトをご覧ください。

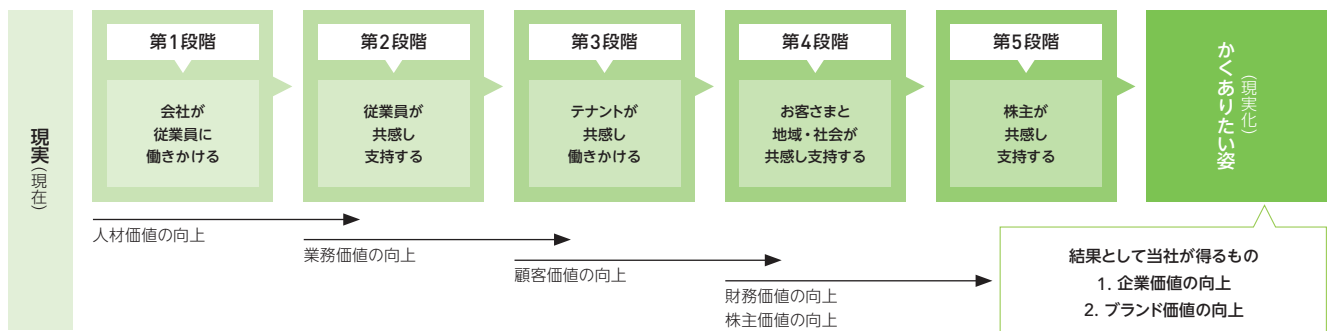
【ESGへの取り組み】 [URL www.parco.co.jp/ir/esg/](http://www.parco.co.jp/ir/esg/)

【CSR】 [URL www.parco.co.jp/csr/](http://www.parco.co.jp/csr/)

2015年9月の「国連持続可能な開発サミット」において「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」が採択され、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」が掲げられました。

## パルコグループの企業価値向上プロセス

パルコグループは、本業を通じたCSRの取り組みによりステークホルダーから共感を得て、支持されることが、企業価値を向上させることに結びつくと考えており、そのプロセスを次のように考えています。



## パルコグループCSR基本方針



## CSRマネジメント体制

パルコは、CSR活動を「事業を通じて、ステークホルダーの信頼と満足を得て、企業価値を高める取り組み」と考え、この基盤強化のためにCSR委員会、ダイバーシティ推進委員会とリスクマネジメント委員会から成るCSRマネジメント体制を構築しています。各委員会を定期的に実施し、全執行役が委員として所属し、社内各部門、グループ各社との連動により、パルコグループ全社員が社会とコミットし、積極的に取り組むことを推進しています。



## 社会への取り組み

パルコグループでは、次世代を担う人材や才能を応援する「次世代」、文化的で新しい価値の提供と市場を創造する「文化」、街や地域の魅力向上に貢献する「地域」に加え、「働き方改革」「コンプライアンス」を重点テーマと認識し、さまざまな活動に取り組むとともに、ダイバーシティ&インクルージョン経営を推進しています。

※「次世代」「文化」「地域」の取り組みについては、P27からの「パルコグループの成長戦略」とP36からの「価値創造の成果」をあわせてご参照ください。

### 多様な働き方を支援

従業員一人ひとりが生き生きと能力を発揮できる環境を整えることが大切なことだと考え、多様性を担保する制度・環境の整備と風土醸成を進めています。

#### 場所を選ばない働き方を支援

ICT活用・拡充によりコミュニケーションの促進と業務の高速化・高密度化を推進しています。

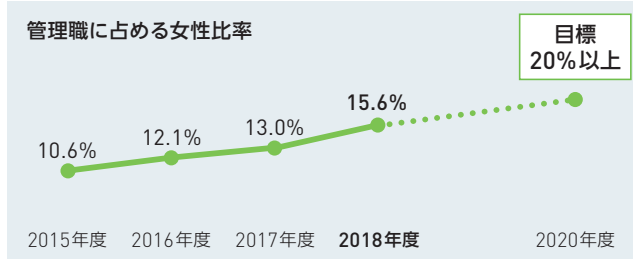
- クラウドサービス導入など社内グループウェア刷新
- 全社員へのモバイルパソコン・スマートフォンの配布
- 社内交流とフレキシブルな働き方を推進 (Webミーティングを拡大、フリーアドレス一部導入、フリーワーキングスペース・コンセントレーションエリア設置)



フリーワーキングスペース

#### 女性活躍推進

女性が働きやすく貢献できる環境を提供するため、全社的な「労働時間の短縮＝有給休暇の取得推進」に取り組むほか、活躍をさらに促進し「女性管理職比率の向上」につなげるために、女性管理職候補者の育成やキャリア意識向上機会の提供、時間制約のある社員が働きやすい職場の整備など「女性の職場生活における活躍の推進に関する法律」に対応した行動計画を策定しています。また、年次有給休暇取得日数平均は2014年度の5日を2020年度までに10日にすること、管理職に占める女性比率は2015年度の10.6%を2020年度に20%以上にすることを目標に掲げ取り組んでいます。



### コンプライアンス徹底

リスクマネジメント委員会が、継続的な研修や訓練を通じて従業員へ積極的に働きかけ、コンプライアンスの徹底を図っています。ハラスメント研修については、2017年度より全従業員の受講を目指し開催しています。

#### コンプライアンス研修

2018年度

5回実施 516名参加

#### BCP訓練

2018年度

5回実施 83名参加

#### ハラスメント研修

2017年度～2018年度

4回実施 569名参加



#### 育児・介護支援制度

育児・介護と仕事の両立支援に取り組んでおり、一部制度では法定の基準以上に拡充を図っています。これら制度の整備と社内の風土醸成の結果、2012年度以降の出産復職率は100%となっています。また、2017年3月より在宅ワーク制度を導入しています。

##### 育児支援制度利用者

2018年度

56名

##### 介護支援制度利用者

2018年度

6名

##### 在宅ワーク制度利用者

2018年度

35名

#### 副業制度

2019年2月より、新しい働き方の一つとして、副業制度を導入しました。(2019年5月末日現在 副業制度利用者4名)

##### 本制度の基本方針

- 副業をはじめとする社外での経験は従業員の成長の機会であり、従業員の成長は会社の成長につながる
- 当社には多彩な才能をもったタレントがあり、副業は従業員の多彩な才能の発揮機会ともなり得る

##### 本制度の目的と期待する成果

- 従業員の成長・自律促進
- 社内活性化 (インベーションの促進)
- 多様な人材の保持・獲得
- 従業員の多彩な才能の発揮機会



- 社外を経験することによって
  - 競争意識の刺激、インベーション促進
  - 従業員の視点・人脈が拡大、社内風土の変革につながる
- 副業制度によって
  - 自己実現のための選択肢が拡大
  - 人材の獲得に好影響

## 地域との連携

店舗でのイベントなどを通じた地域のコミュニティへの参加や、安全・安心な商業施設の維持による街や地域の魅力向上への貢献は、PARCOブランドの向上につながっています。

### 名古屋PARCO

#### 地元の生産者や食文化を盛り上げるクラウドファンディングプロジェクト

名古屋PARCOのレストランフロアに出店した三重県の活魚問屋「奥山安蔵商店」と地元愛知県で話題の店舗を運営する「エイムエンタープライズ」は、出店にあわせてクラウドファンディングサービス「BOOSTER」を活用し、「生産者の環境改善や地元食文化を盛り上げる!地元飲食企業×生産者応援プロジェクト」を実施しました。ご支援いただいた支援金の一部を生産者に還元し、若手漁師の育成、漁業設備の改修資金、その他漁業支援などに活用していきます。リターンにはレストランフロアで利用できるプレミアムグルメチケットなどを提供し多くのお客さまにご来場いただきました。



名古屋PARCO 西館7階  
「奥山安蔵商店 ヒモノ照ラス」

### ひばりが丘PARCO

#### 開店25周年記念「ひばり文化祭」を開催

2018年も好評を博した「ひばり文化祭」をバージョンアップさせて、25周年を記念したイベントを開催しました。「PARCOで学ぶ・遊ぶ・元気になる」をテーマに、ひばりが丘の地形や歴史を「学べる」展示や講演会、初のフィールドワークを開催。音楽ライブやワークショップ、期間限定ショップなどみんなで「遊ぶ・元気になる」さまざまなイベントを実施しました。また、25周年にちなんで「PARCOの“25年”とひばりが丘の街と人々の“25年”」を象徴する企画を展開するなど、今後もひばりが丘エリアのマーケットが、より楽しく、住み続けたい街となるように、地域の皆さまとのコミュニケーションに貢献しました。



写真展「ひばりの肖像。」

### PARCO\_ya

#### 「シャンシャン」のお誕生日連動企画「ハッピーパンダフルデイズ」を開催

上野動物園の人気者「シャンシャン」の誕生日(6月12日)を記念して「ハッピーパンダフルデイズ」を開催しました。隣接する松坂屋上野店と共同で、未公開ショットを含むシャンシャン写真展やパンダクイズラリー、PARCO\_ya限定のパンダグッズの販売、オリジナルメニューの提供など、地元と一緒に誕生日を盛り上げました。ご来場いただいたお客さまお祝いムードで笑顔あふれる館内になりました。



PARCO\_ya 1階  
「DEAN & DELUCA CAFE」  
パンダ クラッシュチョココレート マフィン

### 松本PARCO

#### 「松本パル校祭」を開催

松本市でおこなわれる市民祭にあわせて、松本PARCOでは、地元信用金庫や商店、地元誌と連携し「松本パル校祭」を開催しました。2018年は松本の市街地が歩行者天国となり、地元信州のモデル参加によるファッションショーには、松本PARCOに出店している10ブランドが参加しました。また、パン屋さんが集合して展開する人気企画「パンパパンフェス」や地元のキッチンカー9店舗が集まった「パル校食堂」、館内ではワークショップやスタンプラリーでさまざまな体験をしていただきました。多くのお客さまにご来場いただき、松本の街の賑わいに貢献しました。



松本PARCOが参加した市民祭の様子

## 環境への取り組み

ショッピングセンター事業とそれに関連する活動分野のなかで、地球環境との関わりを重点テーマと認識し、持続可能な社会を次世代に残していくため、環境保全活動を推進しています。そのために、パートナーであるテナント企業をはじめ取引先企業と協力し、また、お客さまや地域の方々のご理解をいただきながら、環境負荷の少ない商業空間の創造を目指します。

### リサイクル・リユースの推進

テナント企業のご協力のもと、事務所ゴミの減量・再資源化に積極的に取り組んでいます。プラスチックハンガーの再利用や、ダンボール、廃油の100%リサイクル、生ゴミの肥料化によるリサイクルなどを積極的に実施しています。さらに廃棄物計量器を利用し、テナントごとの品目排出量の見える化を推進、リサイクルできる品目は確実にリサイクルしていく体制を整備しています。



調布PARCO 廃棄物計量器

リサイクル率  
2018年度  
**69.24%**

### 照明LED化の推進

電気使用量の削減を目的に、PARCO各店共用部の照明をエネルギー効率の低い器具から順次、計画的にLED化を推進してきました。現在、高効率照明や蛍光灯を除き、PARCO全体の約64%までLED化を実現しています。LED化されていない照明器具については、改装のタイミングなどを鑑み計画を推進していきます。



PARCO\_ya店内共用通路照明の100%LED化を実現

電気使用量既存店  
前年度比  
**100.0%**



## 基本的な考え方

パルコは、企業価値向上のためには、株主の権利・利益の保護、株主以外のステークホルダーとの円滑な関係の構築、経営の透明性の確保および有効な経営監視体制の構築が不可欠であるとの認識から、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいます。また、経営における監督機能と執行機能の分離を明確化し、透明性の高いコーポレート・ガバナンス体制を構築するとともに、迅速な意思決定・執行を確立するため、指名委員会等設置会社とし、経営に対する客観性を担保すべく取締役会構成員の半数を独立役員（社外取締役）としています。なお、パルコはJ. フロント リテイリンググループの一員として、グループビジョンの実現に向けた事業経営を推進することで企業価値の向上を図る一方、パルコグループ独自のパルコブランドビジネスを有しており、かつパルコ独自のコーポレート・ガバナンス体制を確立し、経営の自主性および透明性を確保しています。

## 内部統制

### 基本的な考え方

パルコは、業務の有効性および効率性、財務報告の信頼性、事業活動に関わる法令などの遵守ならびに資産の保全などにおいて、パルコおよびパルコグループの業務の適正を確保する体制を定め、企業価値の向上に努めています。

### コンプライアンス体制

パルコは、法令などを遵守し、公正かつ透明性の高い企業活動をおこなうため、コンプライアンスに関する基本理念および行動規範を制定するとともに、執行役および使用人の法令違反行為などに対する予防措置、対処方法、是正手段などを定めたコンプライアンス規程を制定しています。また、コンプライアンス体制整備の一環として、全社員が遵守し実践すべき「コンプライアンス基本理念」「行動規範」を制定しているほか、「行動指針」を事務所に掲示したり、コンプライアンス活動の指針を盛り込んだ「パルコ社員ハンドブック」を全役員・全社員に配布するなど社内啓蒙活動を進めています。また、コンプライアンス経営の強化を図るため、法令等違反行為に関する通報の適正な処理の仕組みを定めるグループ社内通報制度を設けています。同制度では、通報窓口第三者機関を利用するなど、法令違反行為などに関する適正な通報処理の体制をとっています。

「コーポレート・ガバナンス」の詳細についてはWebサイトをご参照ください。

URL [www.parco.co.jp/about/governance/](http://www.parco.co.jp/about/governance/)

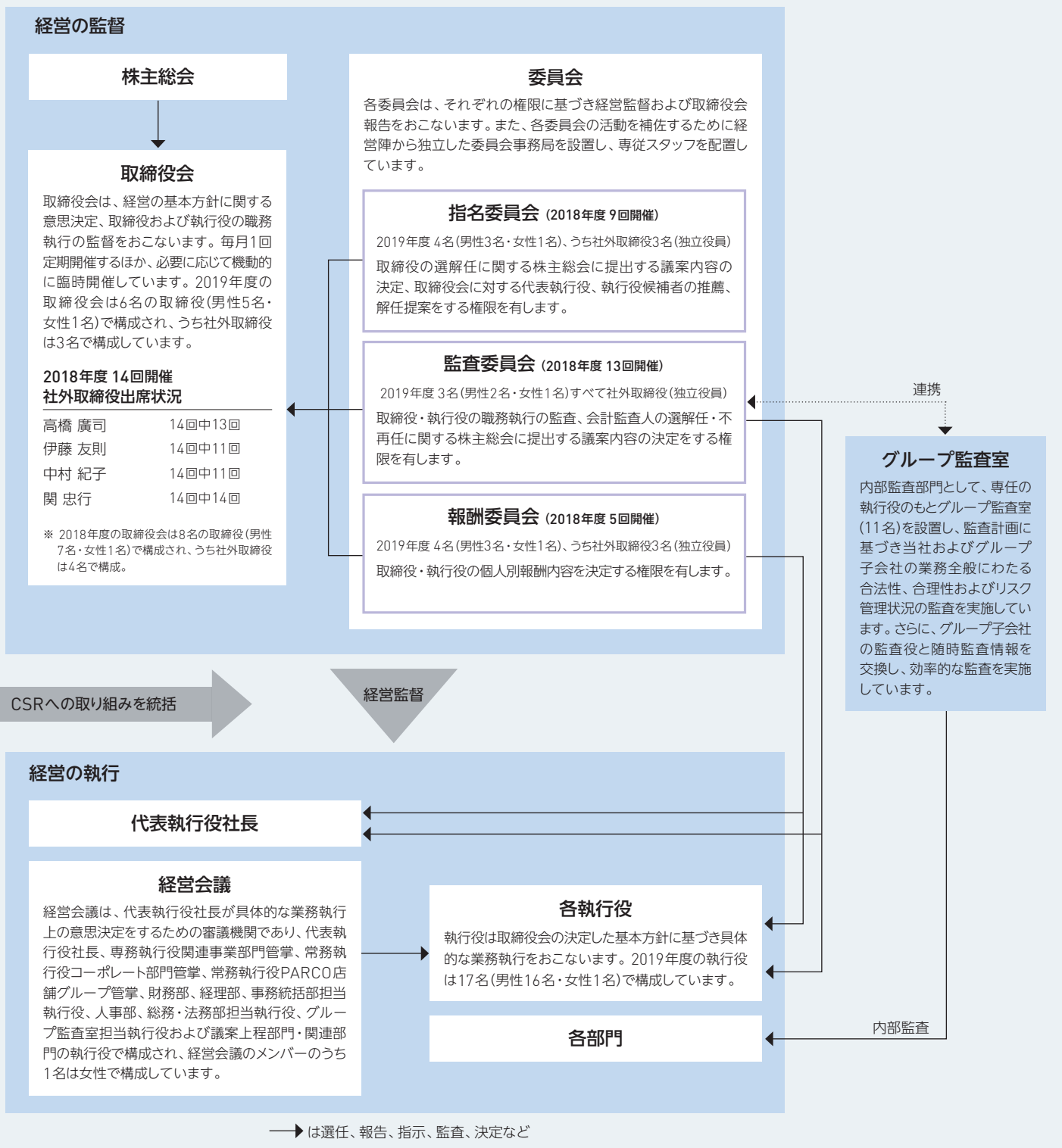
## 業務執行・経営の監視の仕組み



## 取締役の推移

2003年より委員会等設置会社（現・指名委員会等設置会社）に移行

		2003	2004	2005	2006
取締役	(名)	5	5	5	5
社外取締役 (うち女性)	(名)	4	4	5 (1)	5 (1)
社外取締役比率	(%)	44.4	44.4	50.0	50.0



2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
5	6	6	5	6	7	4	4	4	4	4	4	3
5	5	5	5	4	5	6	6	6	4	4	4	3
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)
50.0	45.5	45.5	50.0	40.0	41.7	60.0	60.0	60.0	50.0	50.0	50.0	50.0

## 社外取締役メッセージ



たかはし ひろし  
**高橋 廣司**  
社外取締役(独立役員)  
監査委員会議長

パルコは、経営における監督機能と執行機能の分離を明確化し、透明性の高いコーポレート・ガバナンス体制を構築するとともに、迅速な意思決定、業務執行を確立するために「指名委員会等設置会社」の形態をとっています。「指名委員会等設置会社」における社外取締役の役割には、①経営方針・経営改善に関する助言、②経営の監督機能、③利益相反の監督機能、④取締役会の透明性の確保があります。これらの役割を踏まえて、中長期に持続的な企業価値向上を果たすため、社外取締役の心構えとして特に次の2点に留意して行動しています。まず、必要であると判断すれば、経営者に対して社内では言いづらい問題点などをズバリと指摘することです。次に企業成長のためにコーポレートガバナンス・コードの目指す「攻めのガバナンス」を実効的に構築・維持すべく、経験の異なる社外取締役同士のチームワークを重視することです。



なかむら のりこ  
**中村 紀子**  
社外取締役(独立役員)  
報酬委員会議長

日本は女性の就業率が81%とアメリカを抜きましたが、男女格差はまだまだ各界にあります。その一つは女性の大半がパート、非正規労働者だからです。もし男性と同じ労働時間で同じ賃金をもらったとしたら日本のGDPは15%上がると言われています。私は女性管理職の育成から始まり、働く女性の子育てと介護支援サービスを30年間以上してきましたが、パルコの社外取締役として、女性が活躍できる風土づくりや子育て中のお客さまも気軽にお店に足を運んでくれる環境整備に尽力をしています。パルコはエネルギーに満ちた若い社員が多く、取締役や執行役が決して意見を押し付けることなく調整役のリーダーとして活躍しています。これからも女性にも同じチャンスを与え、次世代育成を積極的におこなってまいります。



せき ただゆき  
**関 忠行**  
社外取締役(独立役員)  
指名委員会議長

パルコを含む小売を取り巻く経営環境には厳しいものがあります。かかる厳しい環境下、パルコは他社とは異なる独自の競争力を維持していく力を持っていると感じています。その競争力の源泉は強固な財務基盤に加えて、社員および経営陣の創造性、独自性、社会との関わり方、等々だと考えています。このような独自の競争力が失われないように、また人材を含む経営資源配分戦略が最大限効果を発揮できるように、そしてその結果として中期経営計画が達成できるように経営をしっかりとモニタリングしていきたいと考えています。モニタリングを効果的にするために重要なのは、社外役員として、より一層社員や経営陣とのコミュニケーションを深め当社に対する理解を深めていくことです。そして、それが社外役員の責務であるという考えを持ってやっていく所存です。

## 役員選・解任の方針および手続き

パルコは指名委員会等設置会社として、指名委員会にて役員選任・解任要件を定め、当社取締役・代表執行役・執行役の選任・解任について、株主総会の議案、取締役会への推薦内容を決定します。また、役員選任基準については、「コーポレートガバナンスに関する基本方針」にて開示しています。

### 取締役および社外取締役の選任理由

氏名	選任理由
牧山浩三	同氏は長年にわたり店舗統括部門に携わり、2011年5月より代表執行役社長に就任し、広く当社事業全般に関する豊富な経験を有しているほか、2008年5月以降、当社取締役として取締役会における協議・検討に積極的に貢献しています。同氏を取締役とした理由はこうしたこれまでの経験と実績に基づく経営の監督とチェック機能を期待したためです。
平野秀一	同氏は長年にわたり店舗統括部門、コーポレート部門に携わり、2008年3月より代表執行役社長、2011年5月より専務執行役に就任し、広く当社事業全般に関する豊富な経験を有しているほか、2008年5月以降、当社取締役として取締役会における協議・検討に積極的に貢献しています。同氏を取締役とした理由はこうしたこれまでの経験と実績に基づく経営の監督とチェック機能を期待したためです。
高橋廣司	同氏は公認会計士(元EY新日本有限責任監査法人シニアパートナー)であり、株式会社プロネットの代表取締役社長です。同氏を社外取締役とした理由は、その経歴を通じて培われた財務・会計に関する専門的な知識、経験、見識に基づく経営の監督とチェック機能を期待したためです。
中村紀子	同氏は株式会社ポピンズホールディングスの代表取締役会長および株式会社日本経済新聞社の経営アドバイザリーボードメンバーを務めています。同氏を社外取締役とした理由は、その経歴を通じて培われた経営者としての知識、経験およびグローバルな視点での見識に基づく経営の監督とチェック機能を期待したためです。
関忠行	同氏は長年にわたり伊藤忠商事株式会社の経営に携わっていました。同氏を社外取締役とした理由は、その経歴を通じて培われた経営者としての知識、経験およびグローバルな視点での見識に基づく経営の監督とチェック機能を期待したためです。
澤田太郎	同氏はJ. フロントリテイリング株式会社の取締役兼執行役員常務および同社の連結子会社である株式会社大丸松坂屋百貨店の取締役を務めており、経営および小売事業について豊富な経験、実績、見識を有しています。同氏を取締役とした理由は、当社の事業における執行役による円滑かつ適正な業務の執行に対し、企業経営の経験を生かした有益な助言を期待したためです。

## 取締役会全体の実効性の分析・評価

パルコは、取締役会の実効性向上のため、2019年1月に、全取締役を対象とした取締役会の実効性評価を実施しました(今回で4度目)。評価結果については取締役会にて共有し、実質的な議論をおこないました。また、取締役会の実効性評価については、評価、分析、議論、改善を継続して繰り返すことで、取締役会が変化し、実効性の向上につながると考え、毎年実施します。

### (i) 評価プロセス

委員会事務局および取締役会事務局(コーポレート部門 経営企画担当)にて、全取締役を対象に、取締役会の実効性評価についてのアンケート調査とヒアリングを個別に実施しました。

### (ii) 評価ポイント

現状の取締役会の構成、議論状況、議題、運営・サポート体制などに関する評価および今後の取締役会の実効性を高めるための意見集約をおこないました。

### (iii) 実効性評価の結果

2018年度に本質的議論の確保・議案選定、情報提供・回答体制充実、執行サイドとのコミュニケーション強化などの対応策を実施した結果、2018年度は全体的に高い評価水準にあり、指名委員会等設置会社として取締役会の有効性は確保されている結果となりました。特に高い評価が得られた項目としては、「取締役会の議案選定、本質的議論体制」「取締役会の構成」「取締役会の時間設定、年間開催数」となりました。

### (iv) さらなる実効性向上に向けた今後の改善点

1. 取締役の社内理解のさらなる促進、執行サイドとの双方向コミュニケーション機会の確保
2. 経営戦略、財務政策など重要度の高い戦略的テーマにおける本質的議論の充実
3. 上記議論に向けた、執行の企画提案力向上、資料のポイント明確化



## 役員報酬の決定方針・手続き

パルコは、指名委員会等設置会社として、報酬委員会にて報酬基準を定め、取締役および執行役各人の役割、職責、職務執行結果としての評価に基づき、公平、公正に個人別の報酬内容を決定しています。

### 2019年2月期の役員報酬実績

区分	支給人員 (名)	報酬の総額 (百万円)	内訳	
			金銭報酬 (百万円)	株式報酬 (百万円)
取締役 (うち社外取締役)	9 (4)	56 (31)	56 (31)	-
執行役	16	451	376	75
合計	25	507	432	75

※上記には2018年5月26日に開催された当社第79期定時株主総会をもって退任した取締役1名に対する報酬を含んでいます。

### 取締役・執行役の報酬基準

当社は、取締役および執行役の報酬委員会の報酬基準を以下のとおり定め、運用する。

- ① 取締役年俸は、役割に応じた「基本年俸」「委員会議長年俸」および「委員会委員年俸」の確定報酬とする。
- ② 執行役年俸は、役位・役割に応じた「基本年俸」、会社業績および個人業績に基づく「成果年俸」および役位・役割に応じた株式交付信託による「株式報酬」の確定報酬とする。
- ③ 執行役の「基本年俸」「成果年俸」(標準)および「株式報酬」の比率は、役位・役割に基づき40%～50%、:30%相当、:20%～30%相当とする。
- ④ 執行役の「基本年俸」は当期の役位・役割に基づき決定する。
- ⑤ 執行役の「成果年俸」は、前期の会社業績に連動した支給総額を個人業績(0%～200%)に基づき配分する。
- ⑥ 執行役の「株式報酬」は、当期の役位・役割に基づき決定する。
- ⑦ 執行役兼務取締役については、取締役年俸に執行役年俸を加算支給する。

## 株主との建設的な対話に関する方針

株主との対話は、IR担当部門執行役が担います。株主・投資家の皆さまからの建設的な対話の申し入れには、趣旨や目的を思議し、代表執行役社長、各事業部門の担当執行役、または社外取締役が対応します。IR担当部門は社内との関係部門と綿密な連携を取り、株主との対話にのぞみます。

パルコは、株主を含む投資家との円滑な関係を構築し、相互理解の促進に向けた対話を積極的におこない、中長期的な企業価値向上に資するIR活動を推進します。また、年2回の定期的な調査により、株主構成の把握に努めています。なお、社外取締役による面談の対応については、必要に応じて実施します。

機関投資家・アナリストに対しては、定期的に決算説明会を開催するほか、事業の進捗に応じて個別に説明会を開催しています。決算説明会での説明資料、動画などは当社Webサイト上に英語版もあわせて開示しています。個人投資家に対しては、迅速性、利便性を重視した情報提供をおこなっています。また、

建設的な対話のツールの一つとして統合報告書を作成しています。投資家との対話により得られたご意見・質問は経営陣幹部へ適宜報告しています。決算説明会の結果については総括し、取締役会に報告しています。

パルコは、当社および子会社に関する内部情報などの管理ならびに当社役員による当社および公開子会社の株式等の売買等に関する規程(「パルコグループ内部者取引管理規程」「内部者取引防止規程」)を定め、役員による内部者取引の防止に努めています。「情報開示の基本方針」「情報開示の基準」「情報開示の方法」「情報開示とIR活動の充実」「沈黙期間」「公表前の情報の取り扱いと第三者への情報開示」および「将来予想について」からなるディスクロージャーポリシーを定め、インサイダー情報を管理しています。2018年度に改訂した本ポリシーを、当社Webサイト上に開示し、透明性、公平性、継続性を基本とした情報開示に努めています。

### 2018年度の活動状況

個人投資家向け対応	WebサイトでのIR情報量の拡充を継続的におこなっています。また、IRメールの定期配信をおこない、SNSを利用した情報発信もおこなっています。
アナリスト・機関投資家向け対応	アナリスト・機関投資家向けに決算説明スモールミーティングを年2回(4月、10月)開催しました。いずれも代表執行役社長より、パルコグループの決算概要、営業概況や考え方などを中心に説明し、動画配信をしています。この他、常務執行役による国内機関投資家・アナリストとの個別ミーティングを実施しました。
海外投資家向け対応	国内において海外機関投資家との個別ミーティングに対応しています。海外投資家向け、情報の充実と即時性を目的として、Webサイト上での決算説明資料の決算発表同日開示および英語版動画の翌日開示など、アプローチを強化しています。

## コーポレートガバナンス・コードの対応

パルコは、パルコグループの持続的成長と中長期的な企業価値向上を実現するために、コーポレートガバナンス・コードの各原則の本質的な理解と対応が必要であると考え、すべての各原則を実施する方向で体制の強化や変更、考え方の明文化を進めています。

詳細はWebサイトをご参照ください。

コーポレートガバナンスに関する基本方針 [コーポレートガバナンス報告書](http://www.parco.co.jp/about/governance/)  [www.parco.co.jp/about/governance/](http://www.parco.co.jp/about/governance/)

取締役



**まきやま こうぞう**  
**牧山 浩三**  
 取締役 取締役会議長兼  
 代表執行役社長  
 1981年 当社入社  
 2004年 執行役  
 2007年 常務執行役  
 2008年 取締役兼専務執行役  
 2011年 取締役兼代表執行役社長  
 2013年 取締役 取締役会議長兼代表執行役社長(現職)  
 J.フロントリテイリング株式会社取締役  
 2017年 J.フロントリテイリング株式会社取締役兼執行役常務(現職)



**ひらの ひでかず**  
**平野 秀一**  
 取締役兼専務執行役  
 関連事業部門管掌  
 1981年 当社入社  
 2004年 執行役  
 2007年 常務執行役  
 2008年 取締役 取締役会議長兼代表執行役社長  
 2011年 専務執行役  
 2013年 取締役兼専務執行役(現職)



**たかはし ひろし**  
**高橋 廣司**  
 社外取締役(独立役員)  
 監査委員会議長

1973年 扶桑監査法人入所  
 1986年 新光監査法人社員  
 1995年 中央監査法人代表社員  
 2007年 新日本監査法人(現EY新日本有限責任監査法人)代表社員  
 マーケティング本部事業開発部担当常任理事  
 2009年 同法人クライアントサービス本部監査統括部事業推進室担当常務理事  
 2010年 同法人監査業務本部事業推進室室長  
 2011年 当社社外取締役(現職)  
 株式会社アロネット代表取締役社長(現職)  
 2012年 株式会社サンセイラディック社外取締役(現職)  
 2017年 イーソル株式会社社外取締役(現職)  
 株式会社リアライズ(現株式会社ネタもと)社外取締役(現職)



**なかむら のりこ**  
**中村 紀子**  
 社外取締役(独立役員)  
 報酬委員会議長

1973年 株式会社テレビ朝日入社  
 1985年 日本女性エグゼクティブ協会代表(現職)  
 1987年 ジャフイー・サービス株式会社(現株式会社ポピンス)代表取締役  
 1989年 社団法人全国ベビーシッター協会副会長  
 2011年 株式会社ポピンス代表取締役CEO  
 2014年 当社社外取締役(現職)  
 2016年 株式会社日本経済新聞社経営アドバイザーボードメンバー(現職)  
 株式会社ポピンスホールディングス代表取締役CEO  
 2018年 株式会社ポピンス代表取締役会長  
 2019年 株式会社ポピンスホールディングス代表取締役会長(現職)



**せき ただし**  
**関 忠行**  
 社外取締役(独立役員)  
 指名委員会議長

1973年 伊藤忠商事株式会社入社  
 1998年 伊藤忠インターナショナル会社(ニューヨーク駐在)財務部長  
 2004年 伊藤忠商事株式会社執行役員食料カンパニーCFO  
 2005年 同社執行役員財務部長兼CFO室長  
 2007年 同社常務執行役員財務部長  
 2009年 同社代表取締役常務取締役財務・経理・リスクマネジメント担当役員兼CFO  
 2010年 同社代表取締役専務執行役員  
 2011年 同社代表取締役専務執行役員CFO  
 2013年 同社代表取締役副社長執行役員CFO  
 2014年 同社代表取締役副社長執行役員社長補佐・CFO・CAO  
 2016年 当社社外取締役(現職)  
 日本バルカー工業株式会社(現株式会社バルカー)社外取締役(現職)  
 2017年 JSR株式会社社外取締役(現職)  
 朝日生命保険相互会社社外監査役(現職)



**さわだ たろう**  
**澤田 太郎**  
 取締役

1983年 株式会社大丸(現株式会社大丸松坂屋百貨店)入社  
 2011年 同社執行役員大丸神戸店長  
 2015年 同社執行役員大丸大阪・心齋橋店長兼心齋橋新店計画室長  
 2016年 同社執行役員経営企画室長  
 2017年 同社執行役員経営企画室長兼経営企画部長兼未定番研究所長  
 同社取締役兼常務執行役員  
 2018年 J.フロントリテイリング株式会社取締役兼執行役常務  
 株式会社大丸松坂屋百貨店取締役(現職)  
 当社取締役(現職)  
 2019年 J.フロントリテイリング株式会社執行役常務(現職)

執行役

**あべ まさあき**  
**阿部 正明**  
 常務執行役  
 コーポレート部門管掌

**せんすい たかし**  
**泉水 隆**  
 常務執行役  
 PARCO開店準備室管掌

**やまき ともゆき**  
**山木 知行**  
 常務執行役  
 業態開発グループ管掌

**いまえだ たつみ**  
**今枝 立視**  
 常務執行役  
 PARCO店舗事業グループ管掌

**ひらい ゆうじ**  
**平井 裕二**  
 不動産グループ担当

**はまだ かずこ**  
**浜田 和子**  
 グループ監査室担当

**さとう しげよし**  
**佐藤 繁義**  
 海外事業推進部担当

**のぐち ひでき**  
**野口 秀樹**  
 財務部、経理部、事務統括部担当

**いのうえ はじめ**  
**井上 肇**  
 エンタテインメント事業部担当

**みぞくち たく**  
**溝口 岳**  
 マーケットクリエイション部担当

**とみなが まさお**  
**富永 正生**  
 人事部、総務・法務部担当

**かしもと たかし**  
**柏本 高志**  
 渋谷店準備室担当

**はやし なおたか**  
**林 直孝**  
 グループデジタル推進室担当

**うつのみや まさき**  
**宇都宮 誠樹**  
 営業政策部、店舗運営部、  
 CRM推進部担当

**かわせ けんじ**  
**川瀬 賢二**  
 コラボレーションビジネス企画室担当